

# 上昇気流さらさら勢い

## 新幹線の力

### 金沢駅燃ゆ ③

上昇気流がさらに勢いを増した。18日発表された公示地価は、金沢駅西の金沢市広岡1丁目が前年比17・1%上昇と全国トップの伸び率を記録し、ヒト・モノ・カネを引きつける新幹線の威力を強く印象付ける結果となった。

【1面に本記】  
今回の公示地価で、石川県内の上昇地点は38カ所に増えた。このうち31カ所は金沢にあり、新幹線駅のある金沢が県内の地価回復を

上がりには大いに期待している」と、今後も強気で臨む構えだ。  
地価公示石川分科会代表幹事を務める武田昭男さんは「土地を手放そうと思う地主は少ないので、売買が成立しにくい」と現状を説明し、「駅西は駅東側よりも地価が割安なので上昇傾向が続く可能性がある」と、売り手市場が今以上に広がるの見通す。

## 駅西の地価「ミニバブル」

「高すぎる。金沢はミニバブルのようになっている」。不動産開発の関係者は、火柱が吹き上がるかのように跳ね上がった駅西の地価を見て、やや複雑な表情を浮かべる。土地を取得する費用が高く付けば物件の賃料を引き上げざる

引つ張る格好だ。金沢駅周辺では数年前から、新幹線開業をチャンスと見込んだ投資が盛んになり、ホテルやマンションなど新しい建物が続々と姿を現した。新幹線開業により、駅周辺の不動産需要はさらに高まると見る向きは多い。

### 片町がプラス転換

地価回復は金沢駅周辺から都心にも及んだ。香林坊2丁目が5・3%(前年4・6%)、武蔵町が4・9%(同4・2%)と高い伸びを示し、片町2丁目は2・4%上昇とプラスに転じた。



大和ハウス工業 金沢支店は金沢市本町1丁目目マンション建設を進めており、夏以降の販売開始、来年6月の完成を目指す。同社北陸マンション営業所長の戸田裕之さんは「良い土地があれば、もっと出したい。開業後のマンション需要の盛り

片町では、9月開業予定の再開発ビルに人気ファッションブランド「H&M」の出店が決まり、商業活性化の期待が高まる。金沢中心商店街まちづくり協議会(5タウンズ)会長で片町商店街振興組合理事長の諸江洋さんは「片町を挙げての再開発事業が評価された。駅前の盛り上がりをいかにまちなかに引つ張ってこるかが大事だ」と語った。  
石川の地価は、これまで期待先行で動いてきた。不動産開発関係者が「マンションなり事務所なり、建物に人が入って初めて街の活性化につながる」と語るように、本来の意味で地域の活力を映す鏡となるか、これからが正念場だ。(宮腰哲也)

## 乳頭温泉郷で3人死亡

### 秋田・源泉付近 硫化水素中毒か

18日午後5時ごろ、秋田県仙北市の乳頭温泉郷で「仙北市の職員ら男性3人」と119番が倒れていると、3人は心肺停止の状態で見送られ、3人も死亡が確認された。消防などは硫化水素による中毒の疑いがあるとみて調べている。

仙北市によると、亡くなった3人は、いずれも仙北市に住む、作業員の坂本栄さん(78)と羽根川次吉さん(67)、仙北市職員柴田政文さん(42)。

0.5にある源泉の近くで、湯温や湯量を調整する作業をしていたという。作業を終え、源泉から約200メートル離れた場所に置いていた荷物を取りに戻った際、坂本

### 美濃加茂市長無罪判決で検察側控訴

収賄事件  
岐阜県美濃加茂市の浄水設備導入をめぐる、現金30万円を受け取ったとして事

